

会報

第50号

CONTENTS

- 2 会長挨拶
学長挨拶
- 3 理事長挨拶
- 4 ホームカミングデー
- 6 2013年度 活動報告
- 8 支部だより
- 10 学生支援事業
- 12 総会報告
- 13 同窓会より
- 14 2014年度 活動情報
- 15 大学のページ
- 16 ホームカミングデーのご案内



学寮跡地に建てられた ヨゼフホール



ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 **横溝洋子**

本年五月の代議員総会における役員改選にあたりまして、引き続き会長として、再任の運びとなりました。これからも重責を果たすべく、今まで以上に努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は同窓会にとりまして、創立六十周年の記念すべきよろこばしい年でございました。同窓会といたしましては、学長様に生涯教育講座として、「老い—役割意識の危機と新しい生きがいの探究」という演題でご講演いた

いただきました。昨年完成いたしました、ヨゼフホール内の生涯学習センターを会場にして開催され、学内外から多くの方々に参加されて、有意義な時間を過ごされました。

さらに同日、ホームカミングデーの行事として、「六十周年記念作品展」と「同窓生の集い」を開催いたしました。「六十周年記念作品展」では先生方をはじめ、同窓生の素晴らしい作品が並び、会場にお越しになった方々は一つひとつの作品を丁寧にご覧になっていらっしゃいました。「同窓生の集い」では理事長様、学長様、先生方のご列席のもと、在校生のハンドベル部によるミニコンサートが開かれ、その美しい音色に私たちも心が洗われるような思いがいたしました。また、昨年卒業五十周年を迎えられた大学十一期の方々や、

十五期・二十一期の学年が同期会を開き、理事長様、学長様と一緒に記念撮影を行ない、学生気分に戻り、楽しいひと時を過ごしました。

今年度のホームカミングデーは、十月五日(日)でございます。「生涯教育講座」の講演者として、現在話題のNHKの朝のドラマ「花子とアン」の原案「アンのゆりかご—村岡花子の生涯」のご著者であり、村岡花子氏のお孫さんにあたる村岡恵理さんをお招きして、お話を伺います。同日に「同窓生の集い」も開催いたしますので、どうぞ皆様お誘いあわせのうえ、ご参加くださいませ。皆様が母校に帰ってこられますことをお待ちしております。

ところで、この二年間で、私は全国の支部総会に出席させていただきました。それぞれ趣向を凝らした、深い内容の、

岡山とナミュール・ノートルダム

修道女会との関わり(一)



ノートルダム清心女子大学 学長 **高木孝子**

同窓生の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。

カトリック教会では、昨年「信仰年」とされてきました。それは、前教皇ベネディクト十六世が告知したもので、第二ヴァティカン公会議の開

催五十周年を記念し、信仰の刷新の一年にしよう、という呼びかけでした。この呼びかけに対して、何をしたらよいのか戸惑ったのですが、私は信仰とは一つの生き方ではないかと思うのです。私たちが生きていくうえで何を指針とし、何を支えとするのが、今私たちに問われています。そう考えて私は、この信仰年の呼びかけを契機に、岡山とナミュール・ノートルダム修道女会との関わりについて述べてみたいと思います。

この関わりは、一九二四年(大正十三年)に、ナミュール・ノートルダム修道女会が清心高等学校を譲り受けたことに端を発しています。当女学校は、

と岡山での新しい宣教に賛同し、祝福していることでしょうか。」

この聖デ、イ、ゴ喜斎とは、豊臣秀吉のキリスト教弾圧で処刑された日本二十六聖人の一人であり、岡山市北区芳賀生まれの人です。

デーリング大司教は、聖デ、イ、ゴ喜斎の深い信仰からほとばしる光明によって、ノートルダム会の新しい宣教活動への指針が示されることを確信したのでしょう。また大司教は総長にこ

うも説明しています。「もうすでにウォルサム管区長シスター・フランセスにも手紙を書き、急いで返事をくださるよう頼んでおきました。もちろんいい返事を期待しています。」

幸運にも、デーリング大司教からの手紙に、シスター・フランセスは次のように返答しています。「大司教様の熱意あるお申し出に対して、総長も積極的な取り組みを示しております。しかし、総長は大司教様にはつきりしたお返事

をする前に、もっと詳しい情報を求めております。」総長が求めていたのは、次に示すような情報でした。

- ・日本語で教えなければならぬのか。(シスターのなかには日本語を話せる者がいなかった。)
- ・どのような教科目を担当するのか。
- ・各教科で何名の生徒を受け持つのか。
- ・授業内容、日程はどのようになっているのか。
- ・学校、修道院の設備・維持はどう

なっているのか。

- ・シスターたちの霊的指導はどの程度得られるのか。
- ・修道院独自のチャペルでミサは保障されるのか。
- ・一か月もしないうちに、大司教は、できる限りの情報を添えて返事を送ったのです。

(本稿に使用した書簡は、ノートルダム会の母院であるナミュール修道院の古文書館に保管されています。)

一つの呪文



ノートルダム清心学園 理事長 **渡辺和子**

私たちは誰しも、「他人にわかってもらえなかった淋しい思い」をした経験があるのではないのでしょうか。そんな時に、心が落ち込んだり、相手に腹を立てたりしがちです。私は、そのような時に、一つの呪文のような言葉を

私は、この短い魔法の言葉に、修道会入会前にめぐり会いました。今から五十年前も前の、自分が入会する修道会を決めかねていた頃のことです。ある神父に紹介されて、それまで名前はおろか、所在も知らなかった岡山のノートルダムに一ヶ月ほど滞在しました。その大学で、一人のシスターがアメリカに休暇で戻る間の和文英訳を教えてほしいということでした。

世間的に言えば、修道会と私の。お見合いです。寮の一室をあてがわれ、学生たちに授業をする合間に一冊の小さい英語の本を日本語に訳すように言われました。それは、今「完徳へのすすめ」と日本語になっていますが、創立者マザージュリーの、修道生活を送る上での「すすめ」を記した本でした。

を、心の中で唱えることがあります。それは、「one to One」という短いもので、最初のoneは、小文字で「私」を表わし、次のOneは大文字で「神」を表わすのです。自分の立ち位置の原点に戻ると言ってもよいでしょう。私の相手は、神さま。どれほど口惜しいことを言われたり、されたりしても、私と神との関係を揺るぎないものしておくことが、相手を許し、時には受け入れ、時には相手との距離を置くことを助けてくれます。

訳している間に、私は初めて知ったマザージュリーの偉大さにうたれ、学生たちも慕ってくれたのでこの修道会に入る決心をしたのです。その翻訳中にあった一句が、one to Oneだったので。「神と私」の関係さえ忘れずにいればほ

温かい雰囲気の中で、大変良い経験をさせていただきました。支部長・役員の皆様のご尽力に心からお礼申しあげます。

昨年ベストセラーとなりました、理事長様のご著書「置かれた場所で咲きなさい」は現在もロングセラーとなっておりますが、昨冬、待望の次作「面倒だから、しよう」が上梓されました。拝読いたしました改めて人間らしく、より良く生きるということを考えております。私たちも一人ひとりが支え合うことのできる、より人間らしい社会を目指して共に歩みましょう。これからも同窓会は、堅実な歩みを続けたいと願っております。

末筆ではございますが、同窓会員の皆様方の、日頃のご支援を心より感謝し、ますますのご活躍とご健康をお祈り申しあげます。

トに手紙を書き、その女学校の職務を引き継ぐシスターを要請したのです。その要請は急を要するものでした。というのは、幼きイエズス修道会のフランス人のシスターたちの出発が迫っていたからです。大司教の書簡は熱のものでした。

大司教はまた、ナミュール(ベルギー)在住の総長シスター・マリア・ジュリアンにも手紙を書いています。というのは、総長がそのような使徒職の委託依頼に対して、最終的な権限を持っていたからです。大司教は総長にこう述べています。「岡山は聖、デ、イ、ゴ・市川喜斎の生まれた地であり、彼もきつ

石川啄木が「打ちあけて、語りて何か損をせしごとく思いて友と別れぬ」と詠み、また柴生田稔も、「今日しみじみ語りて妻と一致する夫婦はついに他人ということ」と詠んでいます。

たまたま創立者マザージュリーの本を訳していて得た言葉「one to One」。私は、今まで仕事の上でも人間関係でも苦労しましたが、いつもこの言葉に救われてきました。

多分マザーも、多くの迫害、中傷、誤解、裏切りに遭われ、その都度、心の中で「one to One」と呟いていらしたのではないでしょうか。マザーが、ほほえみの聖人と言われ、絶えず「神は善いお方」と口にしていらしたということは、その心の平安を、生活の原点である「神と私」から得ていらしたからなのではないかと思えます。その娘として、私たちも笑顔忘れず、すべてをご存知のOneに信頼して、小さなoneとしての(しかし神にとってはかけがえのない)自分と仲良く暮らしてゆきましょう。

平成25年度 ホームカミングデー

『同窓会創立60周年記念作品展』

平成25年、同窓会は創立60周年を迎えました。10月20日(日)、学寮跡地のヨゼフホールでホームカミングデーと合わせ「60周年記念作品展」を催しました。素晴らしい作品が寄せられました。



出品目録

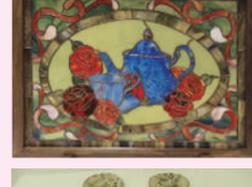
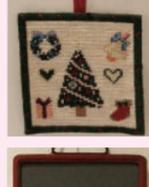
●大学先生方作品

片山 裕之 先生	油絵
福本 紀孝 先生	彫塑
藤原 眸 先生	洋画
小田 久美子 先生	油彩
佐野 榮輝 先生	書(篆刻)(刻字)

●同窓生展示

近藤 幸 専5 被	写真	坪 和 陽子 大15家	刺繍 絵画
榎並 英子 大2家	絵画	山中 佐紀子 大15家	ステンドグラス
小林 恒子 大3家	ニット	小山 利子 大15国	日本画
佐野 美代子 大7家	日本画	日笠 由美子 大19国	絵画
信岡 敦子 大8英	染織り	坂本 鈴子 大19食	七宝焼・宝石箱・スプーン
那須 斐子 大9国	油絵	守屋 陽子 大19食	日本画
田中 慎子 大10国	切り絵	大森 百合子 大20家	人形
山崎 庸子 大10国	日本画	矢部 直子 大21家	ステンドグラスランプ
小倉 富子 大11家	木彫(人形)組作品	横内 泰江 大21家	タペストリー・刺繍
高岩 庸子 大11家	日本画・陶芸	塩見 美枝 大21国	染色(友禅)
孝 忠 琇子 大11家	写真	森下 恵 大23国	トールペイント
三谷 百合子 大11家	刺繍タペストリー	大室 和子 大24英	ステンドグラスランプ
土居 照子 大14家	水彩画	佐藤 泰子 大24英	生け花
重友 多恵子 大14国	表装・絵画	菊井 優子 大24家	生け花
三木 節子 大14国	帯地のタペストリー	横溝 洋子 大26英	ステンドグラスランプ
		佐藤 千壽 大28国	トールペイントテーブル
		秋田 昌江 大29英	フラワーアレンジメント
		前田 明美 大29英	ステンドグラス
		黒田 正子 大32食	デニム人形
		森 安 幸子 大33英	ガラスアート
		三宅 三奈 大38家	絵画
		友國 真由美 大42児	編み物
		フリージアの会	カントリードール
		ゆめ 文庫	点字絵本

※紙面の都合上、掲載できていない写真がありましたらご容赦下さい。



平成二十五年十月二十日(日)ノートルダム清心女子大学ヨゼフホールにおいて、平成二十五年度ホームカミングデーを開催しました。同窓会は今年で創立六十周年の節目を迎えました。そこで記念事業として「六十周年記念作品展」を同時開催しました。午前中に生涯教育講座を開催し、午後から「同窓生の集い」を行いました。来賓として理事長様、学長様をはじめ諸先生方、同窓生あわせて百九十一名が集いました。

このたび、十一期の皆様は、今年度で卒業五十年を迎えられましたが、大学を懐かしく思って三十五名ものご参加をいただき大変嬉しく思いました。また十五期国文学科・家政学科、三十一期家政学科の同期会もあり、ヨゼフホールに入らないほどの参加人数となりました。

ゲストとして、本学ハンドベル部の学生の皆様をお願いし、ミニコンサートを行いました。学生と卒業生とが一緒になれたひと時でした。

その後、高木学長様のご厚意により、新築されたヨゼフホールの見学をさせて頂きました。大学の諸先生方、同窓生の皆様による手作り作品展もあり大変にぎやかな六十周年記念のホームカミングデーとなりました。

平成二十六年度のホームカミングデーも大学内で開催する予定です。皆様のお帰りを心よりお待ちしております。



ハンドベルの澄んだ音色

十一期生の集い



昨年十月二十日のホームカミングデーに、卒業五十年のご招待をいただき、これを機会に世話人十名で「十一期生の集い」を開催しました。ホームカミングデーの後、会場をホテルに移し五十名が集いました。

渡辺理事長がご臨席くださり、「年齢相応の老いを受け入れ、生かされている命を大切に」と愛に満ちたご講話で始まりました。

内容も建物も充実・発展し、当時と大きく様変わりした母校を喜び合いながら懐かしい話や笑いあり涙ありの話題に溢れ、三時間が瞬く間に過ぎました。東は富山から西は北九州まで各地からの参加で、卒業以来の再会という方も大勢でした。

翌二十一日は、希望者で倉敷美観地区を楽しく散策し、昼食をして尽きぬ名残りを惜しみました。

英文 桑田 優子

十五期国文学科・家政学科の同期会を終えて

同窓会六十周年を迎えた十月二十日のホームカミングデーのこの日、同期会を催したところ、多忙な中、県内はもとより広島、奈良、大阪方面からも集いました。

限られた時間でしたが、懐かしい学生時代にタイムスリップしたような心温まる気持ちがありました。ヨゼフホールなどの建物は新しくなっても、ここで青春時代を過ごした私達は、変わらぬ友情を深めることができました。

今後とも、母校のさらなる発展を願い、私達も健康に留意して、またの再会を約束し、別れを惜しみつつ、帰路につきました。

このような機会を与えてくださった役員・事務局の皆様、お世話になり感謝いたします。

国文 実光 詔子
家政 坪和 陽子

三十一期家政学科の集い

卒業して三十一年ぶりに、三十五名が集まりました。職場で活躍中の方、ご両親の介護に頑張っている方、子育てが一段落し自分探しを始めている方など近況は様々でしたが、会った途端お互いをニックネームで呼び合える会話は何よりも楽しく、時間があっという間に過ぎました。

「会えなかった友ともいつかこんな時間を持ちたいね。」と、次の再会を楽しみに散会しました。

家政 福田 好子
家政 甲斐 美恵

生涯教育

平成二十五年十月二十日(日)、ホームカミングデーの午前の部として、生涯教育講座を開講しました。

講師は、ノートルダム清心女子大学高木孝子学長による「老いー役割意識の危機と新しい生きがいの探究」と題して講演をいただきました。

「老い」とどのように向き合って生きていくべきなのか。マザー・テレサの祈りをご紹介くださり、「自己からの解放、孤独からの解放により、自分の価値観の見直しが叶えられる。また娘の価値観は母親のまなざしの中でできあがる。具体例として、不条理なことにも謙虚な心を忘れず、自分自身を見直すべきである。そして、他者を大切に意義のある人生を創り続けることができる。これこそ、生きがいの探究である。」とお話してくださいました。

学長様のお話を伺い「自分を見つめる良い機会になり、自分の心、または相手の心に寄り添える人になりたい。これからの生き方について、改めて考える時間を持つことが出来ました。」など前向きな多くの感想を頂きました。



ボランティア

フリージアの会

奨学生支援バザーのために、月に二回、ルルド館に集まって手作り品を製作し、ホームカミングデーと大学祭で販売しました。売上金は、全額、学生の奨学金となります。

二十五年度は、縫い物だけでなく、トルベイントにも挑戦し、木のサンタや壁飾りを作りました。また、ネックウォーマーやリストウォーマーなどの実用品や、松ぼっくりのクリスマスツリー、紙粘土のサンタクロース、陶器のメモスタンドなど、バラエティーに富んだ作品づくりをめざしました。

「六十周年記念作品展」では、愛らしいカントリドールを作って出品しました。フリージアの会は、一人ひとりの特技を活かして活動できる場です。子育てを終えてホッと一息ついたら、ぜひフリージアの会をのぞいてみてください。「こんなものを作ってみては」というアイデアも募集中です。年代を越えての楽しいおしゃべりと、可愛い小物たちがいっぱい、癒しの空間でお待ちしています。



1人ひとりの特技をいかして

同窓会報 一四十一号〜一四十九号のあゆみ

昭和二十八年三月八日、ノートルダム清心女子大学一期生の卒業の日と同窓会は発足した。これは育英事業を行ない、学びたい学生のために門戸を開くというシスター・エーメー・ジュリーの熱望によるものであった。

初代会長は、この旨を受け、同窓会奨学賞制度の樹立のために募金活動を開始し、この制度の主旨は現在まで受け継がれている。

平成十七年 第四十一号

「第二回 難民教育基金チャリティー日野原重明講演と松本和輝ピアノコンサート」開催



平成十八年 第四十二号

生涯教育講座「シニア講座」として赤枝郁郎氏、子育て講座として片岡直樹氏を迎える



平成十九年 第四十三号

「第三回 難民教育基金チャリティー渡辺和子講演と久保陽子ハイオリンコンサート」開催



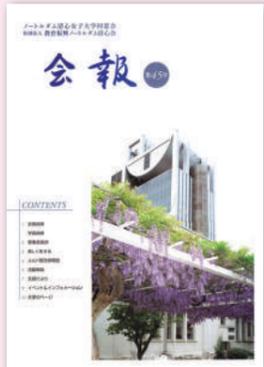
平成二十年 第四十四号

生涯教育講座「子育て講座」として藤山英男氏「シニア講座」として森末慎一氏を迎える



平成二十一年 第四十五号

新装ルルド館(同窓会館)オープン



平成二十二年 第四十六号

「第四回 難民教育基金チャリティー黒柳徹子講演と漆原啓子ヴァイオリンコンサート」開催



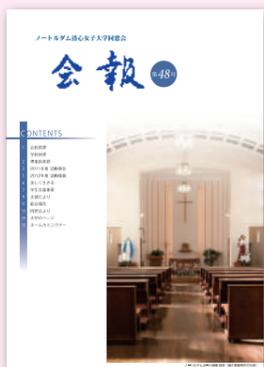
平成二十三年 第四十七号

難波美枝前学長を偲ぶ



平成二十四年 第四十八号

「フートルダム清心会」を解散し、フートルダム清心女子大学同窓会として再設立



平成二十五年 第四十九号

理事長著書「置かれた場所で咲きなさい」一三〇万部突破



ゆめ文庫

「ゆめ文庫」の利用の輪を

あなたの声で!

点訳絵本作りは平成十一年に「大学創立五十周年記念事業」の一環としてスタートしました。グループの名前も「ゆめ文庫」と決まり、三年目には、貸し出しと会報の点訳作業も始めました。そして、九年目には、点訳絵本百冊達成。十三年目には、二百冊達成。今年の三月現在、二六〇冊目が完成しました。



手をしっかり動かして

「ゆめ文庫」は、

今年で十六年目。現在利用登録者数は十三名ですが、昨年度の利用者は、十人です。二六〇冊もある絵本をもっともって利用してほしいと思っています。あなたの周りに、「点訳絵本」を利用して下さる方は、いらっしやいませんか。お知らせの方は、お声かけ頂けませんか。

☆全国どこでも郵送料は無料。
☆一回につき、三冊まで。
☆期間は一ヶ月間。

皆様「ゆめ文庫」に参加してませんか。同期会にはない異年齢のグループです。手はしっかり動かしながら、先輩、後輩から色々なお話をお聞きするのも楽しいひと時です。活動は、基本的に第二・第四木曜日の十時からです。お待ちしています。(十八期 児童 栗井京子)

エンジェル会

ルルド館へは定例会で集うだけだった私達が、昨秋はメロディーベルの音色に誘われ何度も通いました。旭川荘の児童院や療育園の子供達に、このメロディーベルでクリスマス曲をプレゼントするためです。ベルの演奏は皆初めてでしたが、ハンドベル部の学生さん達に丁寧に指導していただき、真剣に真剣に楽しんで練習に励みました。クリスマス会を迎えるまでの日々は、皆で一つの目標に向かって心を合わせることできた素敵な時間となりました。気持ちよく協力して下さった学生の方々に心から感謝です。

私達の活動場所は主に旭川荘内の三施設です。いつもの活動(療育園でのクッキー作り、遊び、児童院での読み聞かせと歌、縫い物・シーツ交換、睦学園での車椅子介助等)に加え、今年度から「療育園での保育支援」「メロディーベル演奏」という新しい活動も始めました。

この他に、季節毎にお祭りもあり、車椅子の子供と共に楽しい時間を過ごしています。皆様も是非一緒に。

(二十三期 児童 椋代公子)



みんな思わず笑顔

ゆめ文庫 新刊目録

- フレデリック (レオ・レオニ)
- 金太郎 (千葉 幹夫)
- スイッチョねこ (大仏次郎)
- はけたよはけたよ (かんざわ としこ)
- でんしゃにのったよ (岡本 雄司)
- 浦島太郎 (千葉 幹夫)
- すてきな 三人ぐみ (トミー・アンゲラ)
- せんろはつづく (竹下 文子)
- かくや姫 (千葉 幹夫)
- おだんごばん (ロシア民話【せた ていじ 訳】)
- ばばあちゃんのアイス・パーティ (さとう わきこ)
- しょうぼうじどうしゃ じぶた (渡辺 茂男)
- あわかった! (圭 永子)
- あかあさんと いっしょ (藪内 正幸)
- まほうつかいのにちようび (西山 直樹)
- ゆきしろとばらあか(グリム童話) (西本 鶏介)
- ほしの ぎんか(グリム童話) (西本 鶏介)
- ぞうくんのあめふりさんぽ (なかの ひろたか)
- おめんです (いしかわ こうじ)
- にじいろの さかな (マークス・フィスター)
- さいごの こいぬ (フランク・アシュ)
- こっけいぼん
- ゆかいな かえる (ジュリエット・キープス)
- ちいさな たまねぎさん (せな けいこ)

支部だより

— 全国9支部から、活動の様子が届きました。 —

●九州支部 (737人)

昨年鹿児島純心高校の創立80周年記念講演に渡辺和子理事長様がいらっしゃいました。その際会員にも呼びかけ、講演会終了後、茶話会を催しましたところ12名の幅広い年代の同窓生が集まりました。年代は違っても話題が尽きることなく、とても楽しいひとときを過ごすことができました。そして8月の支部総会に向けて心をひとつに準備していこうと話をしました。同窓生の皆さま、鹿児島でお会いできることを楽しみにしております。



心をひとつに 支部総会の準備

九州支部長 大藪祥子

●広島支部 (1,623人)

今年8月に総会・懇親会を開きます。今回はアトラクションに、本学卒業生で、NPO法人「子どもシェルターモモ」専務理事の西崎宏美さんをお招きし、ご講演いただく予定です。

また、懐かしい渡辺理事長様や高木学長様、食品栄養学科の菊永先生とお会いできることを楽しみにしております。

広島支部の皆様、ぜひ多数ご参加くださって会を盛り上げていただけたらと思います。心温まるステキなひとときとなりますように！



今年も こんなひとときに…

広島支部長 寺田道子

●四国支部 (901人)

6月1日(日)に開催の第15回支部総会(於 今治国際ホテル)に向けて準備をしています。渡辺和子理事長様、高木孝子学長様、学長補佐 菊永茂司先生がご臨席下さいます。

2月17日に4回目の準備会を開きました。役員に限らず参加できる方の協力を得ています。会の後は昼食をとりながら、学生時代の思い出、近況などの話題で和やかに過ごしました。

本部からの会報がお手元に届く頃は総会の思い出を温めていることでしょう。

四国支部長 土岐久美子



みなさんの参加をお待ちしています

●岡山県支部 (14,927人)

昨年6月、「第9回総会・親睦会ならびに発会15周年記念講演会」を開催いたしました。平成9年に発会して、15周年という節目を迎えたことを感慨深く思いました。

主な活動は、毎年9月に本学ノートルダムホールで行う高校生を対象にした「ノートルダムトロフィー・English Speech Contest」と年1回の支部会報「花みずき」の発行、そして県内各地で開いている、同窓生の絆を深める「地域花みずき会」です。

花みずき会で多くの皆様にお会いできますことを役員一同楽しみにしております。

岡山県支部長 片山幸子

■平成25年度支部長会報告

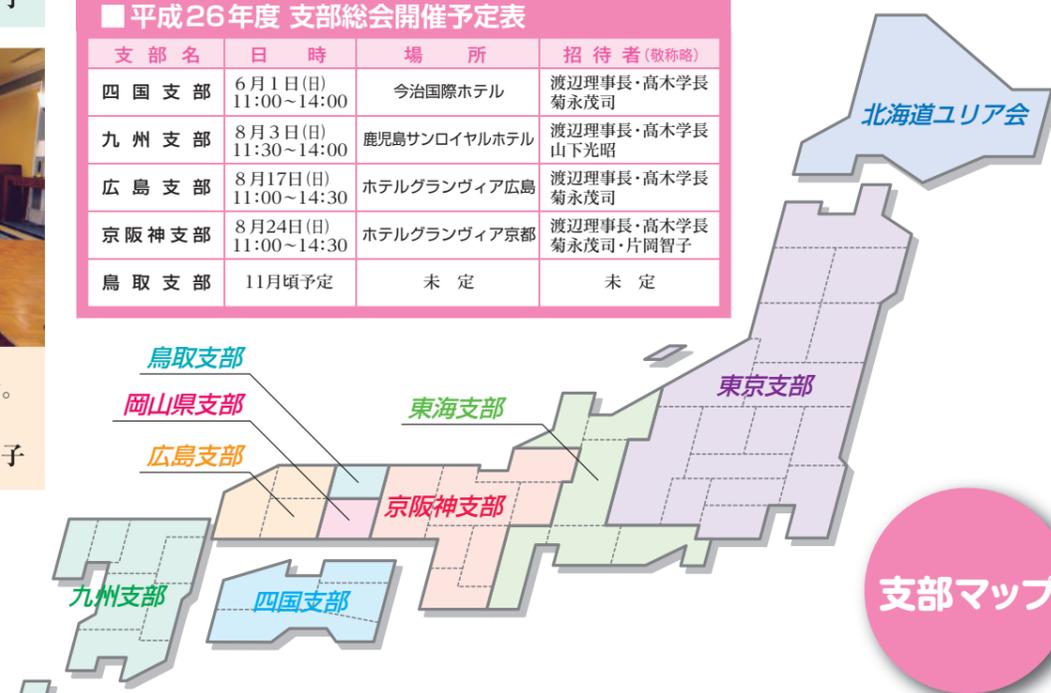
平成26年2月15日(土)ノートルダムホール中央棟8階会議室において、平成25年度の支部長会を開催しました。雪で足元の悪い中、全国8支部からお集まりいただきました。各支部の活動を伺うことができ、活発な御意見もいただき、今後に反映できればと思います。同窓生としての絆が一層深められた充実した会となりました。



寒い中 学長様と支部長を囲んで

■平成26年度 支部総会開催予定表

支部名	日時	場所	招待者(敬称略)
四国支部	6月1日(日) 11:00~14:00	今治国際ホテル	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司
九州支部	8月3日(日) 11:30~14:00	鹿児島サンロイヤルホテル	渡辺理事長・高木学長 山下光昭
広島支部	8月17日(日) 11:00~14:30	ホテルグランヴィア広島	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司
京阪神支部	8月24日(日) 11:00~14:30	ホテルグランヴィア京都	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司・片岡智子
鳥取支部	11月頃予定	未定	未定



支部マップ

★支部会費納入のお願い★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いいたします。



学長様を囲んで

●鳥取支部 (89人)

昨年11月、今年度の支部総会を倉吉で開催いたしました。近年、少しずつではありますが、新しいメンバーをお迎えすることができるようになり、華やかであります。温かい雰囲気の中でしばし、様々な思い出話を花を咲かせました。

「次回の総会には、ぜひ新しいお友達をお連れしますね。」と、帰って行かれた方もおられました。その一言ですっかり嬉しくなり、楽しい思い出で会場をあとにしました。

鳥取支部長 三輪洋子



新しい仲間と共に

※各支部の会員数は平成26年4月30日現在のものです

●北海道ユリア会 (51人)

昨年5月に渡辺和子理事長様が講演で旭川にお越しになりました。お忙しい中お時間を頂きまして、札幌にて有志でお食事をご一緒致しました。とても心温まる和やかなひとときを過ごすことができました。

また、9月には総会・懇親会を開催しました。少人数でしたが、語りも広がり楽しい時間を共有することができました。

北海道ユリア会 代表 小池裕子



理事長様を囲んで

●東京支部 (2,146人)

昨年9月、第22回東京支部総会・懇親会を開催致しました。渡辺理事長、高木学長、卒業生でもあり、現在英語英文学科教授でいらっしゃる赤松佳子先生のご臨席を賜り、女専2期の方をはじめ、約160名の笑顔が溢れる会となりました。理事長様の貴重なご講話や、学長様の大学の取り組み、新ヨゼフホールのお話は、出席が叶わなかった支部の皆様への支部ニュースとしてお届けしました。今年度より2年間、36・37期の役員で会のお手伝いをさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

東京支部長 中瀬順子



グリークラブOGのリードで大学歌を、

●東海支部 (634人)

昨年10月6日(日)、ザ サイプレス メルクールホテル名古屋において、第15回東海支部総会・懇親会を開催いたしました。渡辺理事長様、高木学長様、水野博教授をお迎えし、同窓生50人が集い、懐かしく和やかな時間を過ごすことができました。

総会后、役員が交代し、34・35期生が役員・幹事として、気持ちも新たに始動いたしました。来年秋の総会まで、役員・幹事会を開きながら、楽しくつとめてまいります。

東海支部長 高橋真弓



笑顔につつまれて

●京阪神支部 (2,296人)

今夏は8月24日にホテルグランヴィア京都において、第25回総会・懇親会を開催いたします。

35・36期が総会の準備を担当し、役員会ではいつもプチ同窓会のように、笑い声に包まれながら「楽しく取り組みましょう！」を合言葉に頑張っています。

当日は理事長様、学長様、学長補佐 菊永茂司先生、名誉教授 片岡智子先生にご臨席を賜る予定です。同窓生の皆様、ぜひ京都にお越しくださいませ。お会いできることを楽しみにしております。

京阪神支部長 小幡祐可子



前回の支部総会 ことしは…

ステップアップセミナー

平成二十五年八月三日、岡山納涼花火大会に合わせ、全日本作法会家督・吉井睦美先生(十四期・国文)に「ゆかたの着付け」を実施指導して頂きました。
 参加した学生たちの中には、海外からの留学生もいて、苦戦しながらも楽しんで、ゆかたを着こなしていました。
 ユーモアを織り混ぜながらもポイントを押さえての吉井先生の話に引き込まれていき
 ました。
 これから社会人として、自分らしく飛躍して輝いていくための実践講座とし、毎年開催してきた「マナー講座」は、今年度から「ステップアップセミナー」としてさらに、内容を充実させてまいります。



うーん 難しい

ハイポーズ→



奨学生支援バザー

平成二十五年「奨学生支援バザー」は、ホームカミングデーと大学祭に開催いたしました。
 十月二十日のホームカミングデーでは、新しく華やかなヨゼフホールでのバザーとなりフリージアの会の手作り作品も、より一層素敵に映え、多くの同窓生の方々に楽しんで購入していただきました。
 十一月四日の大学祭協賛バザーでは、更に全国から寄せられた多くの寄贈品や遊休品も加え、喫茶コーナーや、毎回美味しいと大好評なクッキー販売など、お目当ての品を決めて、開店前から並んでお待ちになるお客様もおられ、盛況のうちに終了いたしました。
 高木学長様には、お忙しい中、足を運んでいただき感謝申し上げます。寄せられた皆様からの善意を大切に花咲かせていきたく、決意を新たに次回をめざします。
 多くの皆様の温かいご支援ご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。



かわいい手作り品の数々



どれにしましょうか→

奨学金事業

◆平成二十五年奨学生指導・報告会◆

奨学金委員会では、平成二十五年六月二十二日と十一月九日の二回、平成二十五年奨学生に対し、指導報告会を行いました。

一回目は、奨学生は緊張した面持ちの中、自分の夢や目標について、決意を発表。二回目は、奨学生として感じたことを、目を輝かせながら語っていました。なごやかな雰囲気の中、成長を感じられる指導・報告会となりました。

◆新たに七名の奨学生を決定◆

平成二十五年十二月七日に新年度奨学生の選考会を開き、厳正な審査の結果、七名の奨学生を選出しました。



平成26年度奨学生証書授与式にて

学生支援講座

学生の資格取得を支援する学内講座を開講しています。
 昨年度の受講者数は次の通りです。

- 公務員試験対策学内講座 56名
- 教員採用試験対策学内講座 45名
- パソコン資格取得講座

Microsoft Office Specialist

(MOS) 資格対策講座

Excel スペシャリスト	268名
Excel エキスパート	14名
Word スペシャリスト	237名
Word エキスパート	11名
PowerPoint	46名
合計	576名 受講!

平成26年度 ノートルダム清心女子大学同窓会 奨学生一覧
 2014年4月現在

平成25年度 同窓会奨励賞

団体

- 放送研究部 (学内行事に協力・参加)
- グリークラブ (定期演奏会50周年)
- ハンドベル部 (大学内外の活動)
- ビリベル部 (大学内外の演奏活動)
- 陸上部 (山陽女子ロードレース大会参加)



せいこ「清子ちゃん」

個人



児童学科 卒業生の皆様へ

「児童学科設立50周年を祝う会」のご案内

本年、児童学科は、1964年開設から50年の節目の年を迎えました。つきましては、同封のご案内の通り「児童学科設立50周年を祝う会」を開催いたします。多くの児童学科卒業生の皆様にお集まりいただきたく謹んでご案内申し上げます。

- 日時：2014年12月14日(日) 14:00～18:00
- 場所：本学及び岡山ロイヤルホテル

「児童学科設立50周年を祝う会」事務局 委員長 片山 裕之

受賞おめでとうございます



太郎良裕子さん
二十期 食品栄養学科

平成二十四年度岡山県教育関係功
労者表彰、文化功労賞を受賞

長年にわたり岡山県文化財保護審議
会委員として文化の振興に寄与された
功績ならびに岡山県立博物館協議会委
員として博物館行政の充実に貢献され
ました。現在も岡山県文化保護審議会
委員として活躍されています。

平成二十五年度厚生労働大臣表彰
栄養士養成成功賞を受賞

現在、本学の食品栄養学科の教授と
して管理栄養士の養成に尽力されてお
られます。

「旭日双光章」受賞

深井小久子さん 十四期 家政学科

眼科検査や視力向上を担う「視能訓
練士」として、第一回国家試験（一九
七一年）に合格した草分け的存在。
「臨床と研究の両方できる人材」を目
標に後進の育成にあたっておられます。
昨年、栄えある秋の叙勲を授与されま
した。川崎医療福祉大教授を経て、現
在は公益社団法人日本視能訓練士協会
の教育顧問として活躍されています。

平成二十六年同窓会代議員総会

平成二十六年同窓会代議員総会は、平成二十
六年五月三十一日（土）、代議員十五名、委任状出
席六十八名の参加で開催され、提出議案はすべて
承認されました。

評議員として東京支部、京阪神支部、九州支部、
広島支部、東海支部、岡山県支部、鳥取支部の支
部長も参加くださいました。

第一号議案

平成二十五年事業報告及び収支決算承認の件

第二号議案

平成二十六年事業計画及び収支予算承認の件

第三号議案

次期役員選任承認の件



熱心に審議

監査報告

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度に
おける会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

平成26年4月24日

ノートルダム清心女子大学同窓会

監査委員 高橋みどり
監査委員 横溝美奈
監査委員 田中恵子

同窓会館利用のしおり

使用できる人

- ① 学生・同窓生・岡山清心女子専門学校・ノートルダム清心女子大学現旧教職員客員及びその家族
- ② 附属校、姉妹校関係者及びその家族・同窓会理事及び承認した者

使用目的

会合・研修・宿泊

休館日

日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジデントデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

部屋の名称	収容人数	使用料			
		(会議・会合等) 4時間以内		宿泊(1泊・1名) 16時~翌日9時	
		平日: 9時~16時 土曜日: 9時~14時30分			
		①	②	①	②
1F 第1会議室	25人	3,000円	4,000円		
第2会議室	14人	1,500円	2,000円		
2F うめ(和室)	7~8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
かえで(和室)	7~8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
備考		超過料金 (1時間につき各料金の2割増し)		寝具はリース(実費負担)	

組織図



分掌

講座	奨学金事業	ボランティア	ホームカミング	広報	総務
文化講座 着付け・謡曲 生け花 茶道	学生支援講座 公務員・教員採用 試験対策学内講座	奨学生選考・指導 奨学生支援事業	ゆめ文庫 エンジニア会 フリージアの会	刊行物 ホームページ	財産管理 会計 会館管理 会議・書記 支部総括 特別委員会

住所変更届けのお願い

住所等に変更があった場合は、すみやかにハガキ・FAX・Eメールで同窓会事務局までご連絡ください。

役員名簿

平成二十六年七月年度

理事	世良佳子	理事	伊丹三保子	理事	横溝美奈	理事	山本美智子	理事	久一純子	理事	佐藤泰江	理事	藤田千壽	理事	前田明美	理事	甲斐美恵	理事	福田好子	理事	森川千代	理事	小柴英子	監査委員	高橋みどり	監査委員	横溝美奈	監査委員	田中恵子
----	------	----	-------	----	------	----	-------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	------	-------	------	------	------	------

(*)印は新役員
◎は会長 ○は副会長

渡辺和子理事長の新刊『面倒だから、しよう』
140万部突破の大ベストセラー
「置かれた場所で咲きなさい」
— 実践編 —



○この世に「雑用」という名の用はない。用を雑にした時に「雑用」は生まれる。
○小さなことこそ、心をこめて、ていねいに。幸せは、いつもあなたの心が決める。
○価値があるから生きるのではない。生きていくから価値がある。
○美しく歳を取ることはアンチエイジングより大切。
○同じことは二度とない。だから、今という時を大切に。
○つまりくのはあたりまえ。つまりいたおかげで気付くものがある。
○自分がされて嬉しかったことは、ほかの人にもする。
○誰がいったかではなく、何がいわれたか、何が問題か、に中心を置く。
○看護の原点は「看」の字が示すように、温かい手とまなざしであることを忘れてはいけない。

大学からのお知らせ

大学ホームページ企画「清心アーカイブズ」をリニューアル

同窓生の皆様には平素から資料情報のご提供をいただきありがとうございます。
このたび、大学ホームページ企画「清心アーカイブズ」をリニューアルすることになりました。大学の歴史のほかに、大学にまつわる人物、建物、キーワードを掲載し、また、卒業生の方への情報提供を徐々に増やしてまいりますので、ぜひ高覧ください。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ご意見・ご感想は
下記、資料編集室まで
お願いいたします。

資料編集室 TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035
E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp
※お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半(祝・本学休業日を除く)

ありがとうございました
— この春ご退職の先生方 —

文学部教授 八重樫 直比古 先生
文学部准教授 大滝 一登 先生
文学部准教授 新美 哲彦 先生
人間生活学部助手 井上 里加子 先生

入試広報部より

- 2014年度 オープンキャンパス日程
- 高松出張オープンキャンパス 7月オープンキャンパス
2014年7月12日(土) 2014年7月19日(土) (予約制)
- 8月オープンキャンパス
2014年8月9日(土)・2014年8月10日(日)
- 10月オープンキャンパス 3月オープンキャンパス
2014年10月12日(日) 2015年3月21日(土)

○詳しくは、ホームページをご覧ください。
入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

2014年度 清心フェリーチェ開講講座

特別講演	7月5日(土) 13:30~15:00	聖書と現代	一般 1,000円 学生 500円	ノートルダム清心女子大学 カリタス・ホール(定員:470)
曾野綾子				
渡辺和子	7月12日(土) 13:30~15:00	変えられないものと、 変えられるもの	一般 500円 学生 500円	

聖書講座 ～聖書と現代社会パート②～ 定員:200名 時間:13:30~15:00 受講料:一般 2,500円, 学生 1,250円

第1回	10月11日(土)	東京大学名誉教授 日本学士院会員	荒井 献	安息日は人のために —「強さ」の時代に抗して—
第2回	10月25日(土)	本学学長	高木 孝子	新訳聖書の構成と歴史的関係
第3回	11月8日(土)	上智大学神学部教授	雨宮 慧	神を消し去ってしまうもの —神の蝕—
第4回	11月22日(土)	上智大学神学部元教授 瀬江カトリック教会主任司祭	百瀬 文晃	イエスの生きざまにみる神とのかかわり
第5回	12月6日(土)	東京大学名誉教授	大貫 隆	死者と生者の入れ替わり —パウロの回心によせて—

お問い合わせ先▶ 生涯学習センター事務室 〒700-8516 岡山市北区伊福町2丁目16-9 E-mail: opc@post.ndsu.ac.jp
TEL 086-252-7045 FAX 086-252-7044

平成26年度 文化講座

講座名	講師	内容	定員	曜日・期間等	受講料(全納)	教材費
文学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	20人	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回)14:00～15:30	26,000円 (1カ月/2,600円)	テキスト代
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田中 慎子 (更 愁)	文部科学省後援硬筆書写検定3級、2級、1級の合格を目指して公的資格を取得する。及び実用書の練習を通して文字の上達を目指して書の文化にも触れる。はがき・手紙にも挑戦して生活を楽しむ。	各クラス 10人	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日13:30～14:40 ②毎週水曜日15:00～16:10	18,200円 (1カ月/2,600円)	テキスト代他・初回 (3,500円～3,800円)
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 睦美	ゆかたから留袖まで自分で着られるようになる。和の文化についても学べるし、マナーも身につけることが出来る。人に着せ付けることも可能。講師の資格も取得できる。	各クラス 20人	5月～7月、10月～2月 ①毎週金曜日10:00～12:00 ②毎週金曜日13:30～15:30	24,800円 (1カ月/3,100円)	テキスト代・初回 (4,000円税込)
謡曲・仕舞(観世流)	日本能楽会会員 京都観世会副会長 職分 林喜右衛門師	能楽の台本である謡を通し、日本の文化・歴史を知り、仕舞を通して舞を学ぶ。	10人	火曜日(月2回) 9:30～16:00 稽古所要時間は 1科目 20～30分	謡曲のみ(1カ月) 一般5,000円 学生3,000円 謡曲と仕舞(1カ月) 一般8,000円 学生5,000円	謡本 【初心本・5曲入り】 (3,780円)、 扇(4,000円)
生け花(小原流)	二級家元教授 菊井 優子	花に触れ、花を活け、花を飾る、その行為の中で素直に感動する柔らかな心を育ててゆく。	10人	5月～7月、10月～2月 第2・4火曜日 13:00～15:00	20,000円 (1カ月/2,500円)	花代・1回 (900円)
茶道(武者小路千家)	武者小路千家正教授 笹井 浩子	茶道を学ぶことで、和の文化を知りマナーを身につける。茶会への参加もある。	10人	5月～3月 毎週月曜日 12:00～16:00	22,000円 (1カ月/2,000円)	水屋料・月額 (500円)

※5月開講ですが、申し込みは随時受け付けます。 申し込み、問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496

平成26年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所・10月5日(日) 12:00～(ホームカミングデー) カリタスホール
- 11月2日(日) 10:00～15:00 (大学祭協賛) 場所は未定
- 内容・手作り品の販売他
・喫茶コーナー(大学祭当日)
- お願い・手作り品、タオル、シーツ、日用品、食品品など新しいものをご提供ください。
受付期間:7月1日～10月末日(同窓会事務局まで)
・奨学生支援の寄付金も随時受け付けています。
同封の振込用紙をご利用ください。

フリージアの会の活動

- 日時 第2火曜日・第4土曜日
10:00～14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場所 ルルド館 第一会議室

ボランティア募集中!

ゆめ文庫の活動

- 日時 第2・第4木曜日 10:00～16:00
- 場所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)

エンジェル会の活動

- 旭川荘
・療育園 第3・第4土曜日(10:00～12:00)
お菓子作り、散歩、遊び、学習、子どもたちの話し相手
- ・睦学園 第1・第3金曜日(9:30～10:30)
第1火曜日(10:00～11:00)
レクリエーション、散歩、室内活動の補助
- ・児童院 第3・第4火曜日(11:00～13:00)
おしめの製作等 第4水曜日(10:00～12:00)
歌、絵本の読み聞かせ、紙芝居、おしめたたみ、シーツ交換
- ルルド館
・ミュージックベルの練習 第2土曜日・第4水曜日

ホームカミングデーのご案内

平成26年度 ホームカミングデーを下記の日程で開催いたします。
お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

記

- 日 時：平成26年10月5日(日) 10:00～15:00(受付9:00から)
- 場 所：ノートルダム清心女子大学 カリタスホール
- 内 容：生涯教育講座 10:00～11:45

講師：作家 村岡 恵理氏
(著書「アンのかご」はNHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案となる)

演 題：「村岡花子と『赤毛のアン』—幸せな出会いの舞台裏—」

同窓生の集い 12:15～ ・会 食
・フリージアの会による手作り品の販売



村岡 恵理氏



- 参 加 費：3,000円(昼食代含む)
- 締 切：8月15日(金)振り込み分まで
- 申し込み方法：【集いに参加の方】

※同封の振込用紙をご利用下さい。
※講演会の参加は、先着順となります。結果は8月15日の締め切り後、はがきでお知らせします。
※ご出席の方につきましては、当日配布資料のご出席者名簿にお名前を掲載いたしますことをご了承下さい。

【講演会のみ参加の方】(無料)

※往復はがき(図1)にて別途申し込みください。
一般の方もご参加いただけます。
※往復はがきは1枚につき2名まで申込可能です。
※先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。
※返信はがきは8月末日頃発送します。

- 注 意 事 項：駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- お問合わせ：ノートルダム清心女子大学同窓会

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9
TEL&FAX (086)253-8496 E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

往信 7008516 ノートルダム清心女子大学同窓会 生涯教育係	無記入	返信 代表者の住所・氏名	講演会参加申し込み 「村岡花子と『赤毛のアン』」 「幸せな出会いの舞台裏」 ●氏名(2名の場合は両者記入) ●電話番号(2名の場合は 代表者のみ記入)
---	-----	-----------------	--

図1 往復はがきの記入方法

19期 国文学科の 皆様へ

いかがお過ごしでしょうか？
卒業して43年が経ちました。還暦もあつという間に過ぎ、いよいよ高齢者の仲間入りですね。念願の同期会を、10月5日のホームカミングデーに合わせて計画いたしました。乙女だった私達も、様々な人生を経験し、今ここに立っていることでしょうか。喜びも悲しみもあり、でもきっと培った清心スピリットで乗り切ってこられたのではないのでしょうか。笑顔で集いましょう！お待ちしておりますね。

大空(正本)博子 Tel (086)276-4476 小山(井上)房子 Tel (086)222-2103

- 題字 高木聖鶴
- 表紙 学寮跡地に建てられた ヨゼフホール

昭和24年4月の大学創立と同時に併設され平成22年3月まで61年もの間、親元を離れて学ぶ学生たちを励まし、支えてくれた学寮。同期生はもちろん、先輩・後輩との絆も強く、思い出がいっぱい。母の日の集い・夏まつり・クリスマス… 寮生の笑い声が聞こえてきそうです。

個人情報の 取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

【情報収集と使用目的】

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付

●同窓会・各支部・各部会の活動支援

●会員確認調査

●会員名簿の作成

の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。

【会員からの申請】

会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

編集後記

会報50号をお届け致します。平成二十五年度は同窓会創立六十周年また会報発行50号という記念すべき年でもありました。新築されたヨゼフホール内には、時代のニーズに応え地域に開かれた「生涯学習センター」が開設されました。学習を通じて地域の方々、在学生、同窓生が世代を越えて相互の「絆」を深めたいものです。会報では限られた紙面に盛りだくさんの内容をお伝えできるか苦心致しました。どうぞお読みくださって御意見・御感想をお寄せくださいませ。

なおヨゼフホールの新築に際しまして同窓会よりA棟三階ヨゼフ300のステージに緞帳、一階エントランスホールにマリア像を寄贈させて頂きました。

会報編集委員

- | | |
|----------|-------|
| 十四期・家 政 | 世良 佳子 |
| 十五期・国 文 | 実光 詔子 |
| 二十一期・国 文 | 伊丹三保子 |
| 二十四期・英 文 | 佐藤 泰子 |
| 二十四期・児 童 | 久一 純子 |